

労務環境改善に注力

富田製薬(鳴門)

医薬品・医薬品原料メーカーの富田製薬(鳴門市)は2017年度から労務環境の改善に力を入れる。定年の2年延長や時間外勤務申請制の徹底などが柱。企業規模が拡大する中、政府の働き方改革の流れに沿い、従業員の心身の健康を確保して組織力を高める。

定年は従来の60歳を65歳まで再雇用する。62歳に引き上げた。全国的に人手不足が深刻化している状況を踏まえ、経験のあるベテラン社員的能力を生かす。62歳まで給与体系を見直さず、定年後も1時間ほど前までに

定年2年延長／残業申請制

従業員の健康確保へ

上司に申請。上司が必要なしと判断した場合、翌日以降に回すなどして長時間労働を防ぐ。申請が多い従業員については、業務量や業務の流れを見直し、適正化を図る。16年度から導入しているが、実施を徹底する。

このほか、誕生日や結婚記念日などの記念日に合わせた「アニバーサリー休暇」を設定し、年1日の取得を義務化した。4月にはメンタルヘルスの相談窓口を新たに設けたほか、富田製薬は1893年に創業し、今年で124年目。国内のシェア約5割を占める透析事業が主力で、売上高は2000年度の60億5千万円から、16年度は147億円を超える見込み。これに伴い従業員数も16年度は470人と2000年度の約2倍となっている。

か、コンプライアンスの意識を高めるため、内部通報制度も導入した。

(久保高茂)

富田製薬人事部は

「結果を出せる組織は健康な人の集団だ。さらなる健康経営を目指して改革を進めたい」としている。